

常任委員会 審査から

六常任委員会の審査の過程で特に議論となった点について、要旨を掲載します。

総務委員会

《長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について》

委員 契約は競争原理を働かせることが原則だ。厳しい財政状況の中、なぜ長期の契約を可能にするのか。

市 現在でも随意契約等により、実質的に長期継続契約の形態が存在するため、これに適するものについて、制度を整え、基準を設けようとするものだ。契約の対象を限定し、その種類に応じた期間を定めることで定期的と相手に見直す機会を確保するとともに、入札の競争性も担保する。

委員 対象は極力限定し、競争性の担保について各局の対応を統一するよう財政局の主導的な指導をしっかりと行ってほしい。

保健福祉委員会

《岡山県後期高齢者医療広域連

合の設置について》

―七十五歳以上の高齢者を対象に創設される後期高齢者医療制度。この制度を運営する広域連合の議会の議員定数を、効率的な運営と経費削減の観点から十五人としている―

委員 少ない定数で対象者の生活実態を反映した制度運営が可能なのか。

市 広域連合の議員は市長会や議長会等の推薦者から選ばれるが、それぞれの立場で各自自治体の意見等を踏まえて議事に臨まれると考える。

委員 事前に各市町村へ運営に関する情報の公開や提供をしてもらい、効果的に市町村の意見を集約できる体制をつくってほしい。

市 機会をとらえて当委員会にも情報提供し、出た意見を広域連合へ申し入れたい。

環境消防水道委員会

《御津地区で実施する猛禽類調査の委託料百九十九万円について》

―今回は前期調査（2月～3月）とし、新年度予算で夏に後期調査を実施する―

委員 平成19年夏まで調査地区での大規模開発を控えるよう業者の了解を得ているのか。

市 御津オオタカ保護対策検討

専門委員会より、調査終了まで

事業を控えることが望ましいとの意見が出ており、業者からの報告書の趣旨を尊重する旨の返事をもらっている。

委員 どの業者と話をしているのか。

市 産業廃棄物処理施設と場外舟券売場を計画する二業者である。この他に事業を計画する業者がある場合でも、事業を控えることについては業者の自主的な取り組みをお願いするしかない。

経済委員会

《農業経営基盤強化促進対策事業費五百九十九万円余について》

委員 この事業は経営規模の拡大が確実な農家が対象だが、これからの農業振興には小規模農家への対策をもっと考えるべきだ。

市 高齢化等で農業をやめる農家の増加が予想される。このため、本事業は、それらの農地が遊休農地にならないよう、受け皿となる中規模農家を育成するものだ。小規模農家へは、既存の各種制度による支援の充実を検討する。

建設委員会

《都市計画区域外の開発事業の

調整に関する条例の一部改正について》

委員 開発行為の手続きを承認制から届出・協議制へ変更する理由は。

市 以前開発事業の承認を留保したことに對し、不作為を理由に訴えられた経験や他都市での事例を踏まえ、変更するものだ。

委員 ①地域の実情によっては厳しい規制も必要であり、届出・協議制への変更は大幅な譲歩で、今後の開発行政に大きな影響を与える。法に不備があるなら国に対して改善要望を出すべきだ。

②条例による厳しい規制は法に抵触する可能性があるため、慎重な手続きの遂行を求める。

文教委員会

《社会体育施設条例の一部改正について》

―建部町総合スポーツセンターなど四施設を社会体育施設として設置する―

委員 市外の施設使用者の使用料を市内使用者より高く設定しているが、区別をなくすべきだ。また、本市と同種の施設の使用料を統一すべきだ。

市 合併協議により現行条例をそのまま引き継いだり、市内、市外の区別をなくすとともに、使用料も統一する方向で修正し、

7日	本会議（代表質問）
8日	本会議（代表質問）
11日	本会議（個人質問）
12日	本会議（個人質問）
13日	本会議（個人質問）
14日	本会議（個人質問）
15日	本会議（個人質問）
18日	本会議（個人質問）
19日	議会運営委員会
20日	総務・保健福祉・環境消防水道・経済・建設・文教委員会
21日	議会運営委員会
22日	本会議（採決）
11月	議会運営委員会
11日	議会運営委員会

―11月定例市議会閉会―
(平成19年1月)



建部町総合スポーツセンター

2月議会で示したい。